

### 男女共同参画推進室では、いろいろな支援制度を運用しています

当室では、子育て・介護中の研究者支援、共同研究支援、理工農系博士後期課程女性大学院生フェロウシップ、プロモーションメンター制度、面接時の交通費支援、学内保育園、託児利用料補助、子育て中の教職員への駐車許可証発行など、いろいろな支援制度を運用しています。対象となる方は部局等からの通知にご留意いただき、ぜひご活用ください。当室ホームページもご参照ください。

#### これから募集します

##### ①プロモーションメンター制度

###### ～理事・所属長に直接想いを伝えませんか～

プロモーションメンター制度とは、メンティ(女性教員・若手教員)が、教育・研究・管理運営等に関する現状や課題等をプロモーションメンター(理事・所属する学部等の長)に直接相談できる制度です。メンターが面談を通じて多様な視点から学内の現状や課題等を把握できる体制を構築し上位職登用促進を図ることを目的としています。

##### ②女性研究者による共同研究課題の募集

女性研究者の研究力・リーダー力・マネジメント力の向上と地域における研究活動の活性化などを目的として、本学の女性研究者(准教授以下・分野不問)が研究代表者となる共同研究課題を平成28(2016)年度より支援しています。来年度は4月から募集開始予定です。

#### 弘前大学男女共同参画推進室

<https://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/>



令和8(2026)年度のメンティを募集します。以下のいずれかを満たし将来的に上位職に就くことを視野に入れメンタリングを希望する方は奮ってご応募ください。

- 募集人数：最大7名(女性優先)
- 対象者：女性教員(准教授以下)、若手教員
  - \*シスジェンダー女性に限定されません
  - \*面談を希望する年度末時点で40歳未満の方
- 募集締切：令和8(2026)年5月中旬予定

- 募集期間：令和8(2026)年4月1日～5月11日
- 応募方法：所属部局を通じて所定の申請書を提出

#### 託児利用料補助制度、来年度からの変更点についてお知らせ

当室では例年、託児利用料補助制度を実施しています。利用対象となる方はぜひご活用ください。制度についての認知が上がり年々利用者が増えているため、令和8(2026)年度から利用期間を4～9月と10～3月に分けて予算執行することになりました。各6か月間の予算の上限に達した場合は、期間途中でも早期に終了する場合がありますのでご承知おください。

#### 利用者が決まりました

\* 支援期間：令和8(2026)年5月7日  
～令和9(2027)年3月31日  
※4月からの支援も可能です。

\* 令和8年度新規2名支援予定  
令和4年度以降8名支援

##### ③子育て・介護中の研究者支援制度

育児(妊娠・出産を含む)や介護により研究活動の維持が著しく困難な本学教員に対し平成24(2012)年度より、申請に基づいて研究支援員が配置されています。令和8(2026)年度分の審査が行われ、3部局9人(うち男性0人)への支援が決定しました。育児や介護の状況が新たに生じた場合には年度途中の申請も受付けています。

お気軽に男女共同参画推進室までお問合せください

##### ④理農女性フェロー

女性研究者を増やすための裾野拡大の取組として創設したフェロウシップです。理工学研究科と岩手大学大学院連合農学研究科(弘前大学配属)の博士後期課程の女性大学院生を対象とし、標準修了年限の範囲で1か月あたり研究奨励費(生活費相当)10万円、年あたり研究費20万円が支給されます。

## 大学院生も使えます! スマートラボ化ツール

研究・業務の効率向上にスマートラボ化ツールをお役立てください

男女共同参画推進室では、教職員の研究・業務の効率向上を支援するため、次のものを貸し出しています。本学大学院生も、どうぞご利用ください。

- 会議ブース**  
取柄内などで見かけると同タイプのひとりの会議ブースです。コロナ対応、COIに設置されています。
- 卓上パーティション**  
折りたたみ式、持ち運べるフェルトのパーティションです。ウェブ会議対応、ライト付き。
- 話者識別自動文字起こしレコーダー**  
話者を識別して自動で発音テキスト化されるレコーダーです。AI学習により、文字起こし精度が変わります。

ご利用予約

- 会議ブース  
男女共同参画推進室HPトップページの「会議ブース」ボタンから
- 卓上パーティション、話者識別自動文字起こしレコーダー  
男女共同参画推進室メール、お電話で。利用される方にご都合の良い方法でお申し込みいただけます。

担当・お問合せ先 弘前大学男女共同参画推進室  
電話 0172-39-3888 (内線3888) Email jca2008@hirosaki-u.ac.jp X @GTPaiiser @EQQuality\_HU

無料で使えます

当室で現在無料貸出中のスマートラボ化ツール(●遠隔会議ブース●自動文字起こしレコーダー●卓上会議パーティション)が、研究や業務効率向上に役立つと好評をいただいています。教職員はもちろん、大学院生もお使いいただけます。ぜひご活用ください。利用ご希望の方は当室までお気軽にご一報ください。詳しくは左の学内掲示のポスターをご覧ください。

\* 特に人気の会議ブースはスマートロック付で安心です\*

### 教職員の皆さん、育休取得を遠慮していませんか?

育児休業や介護休業は権利です。そして、育児も介護もお仕事と比べられないくらい人生に大切な時間です。弘前大学は男女共同参画推進基本計画に、「仕事と家庭・地域生活の両立(ワーク・ライフ・バランス)支援」を掲げ、育児や介護などで苦労している方々を応援する職場を目指しています。周囲の方へ迷惑を掛けるから・・・というお気持ちもあるとは思いますが、そこは”お互いさま”です。休業中の業務対応にはいろいろな対応策が考えられます。まずは、遠慮せずに、周囲の方や所属長あるいは男女共同参画推進室にご相談ください。

ご意見を  
お聞かせください

弘前大学男女共同参画推進室は、ジェンダーやライフステージなどにかかわらず「働きやすく学びやすい」弘前大学となるよう、さまざまな取組を行っています。ジェンダー、ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ、セクシュアリティなどについて、支援策のお問合せ、お困りのこと、お気づきのことなど、当室までお知らせください。「さんかくつうしん」へのご意見やご感想などもお待ちしております。

# 男女共同参画トップセミナーを開催しました



オンラインにてご講演の小宮ひろみ先生

昨年12月19日、令和7(2025)年度弘前大9学男女共同参画推進室トップセミナーをハイブリッド開催しました。本セミナーは、本学役職員を主な対象として平成29(2017)年度より男女共同参画推進の意識啓発のため年度に1回開催しています。今回は、「『支える』から『ともに創る』へ～女性研究者のエンパワーメントと共創～」をテーマに小宮ひろみ先生(国立成育医療研究センター 女性の健康総合センター長)を講師にお迎えし、センターが取り組む女性のライフコースと性差を踏まえた基礎研究・臨床研究および意思決定層における女性研究者比率等の現状についてオンラインにてご講演いただきました。女性医師として研究に

も積極的に取り組まれ、女性医師のキャリア支援、男女共同参画、ダイバーシティ推進も進めてこられたご経験から、女性研究者支援はライフイベントや健康の観点からも捉えて進めることが大切、今後は女性研究者を「支援」する考えから共に意思決定するパートナーとする考え方「共創」へ移行していく必要があるとのお話でした。質疑応答後、福田学長から結びの挨拶があり閉会しました。

- 日 時：令和7(2025)年12月19日(金) 10:30～11:30
- 会 場：創立50周年記念会館岩木ホール Zoom
- 参加者：約60名(うちZoom約40名)

**参加者の声** ●大変有意義な内容だった ●共創という考え方が非常に重要であることが理解できた ●女性管理職を増やすためには健康やライフイベントを個人の問題とせず意思決定するパートナーにというお考えを聞かせてもらい大変有意義だった ●若手女性研究者へのメッセージ「思いを持ち続けること」「助けてと発すること」に共感しました



セミナー会場の様子

## 「さんかくダイアログ」を開催しています

「さんかくダイアログ」は、ジェンダー平等やダイバーシティに関して弘前大学の学生や教職員が気軽に参加でき、自由に語り合える(ダイアログ[対話]できる)場を提供したいとの考えから年度に数回企画されているものです。

第2回(10月14日開催)は、保健学研究科の櫛引先生より「一緒に考えよう、こころを守る方法」をテーマに日頃働く上での対人関係によるストレスへの対処法について話題提供とグループワークや情報・意見交換が行われました。

第3回(11月21日開催)は、「女性研究者と学長との懇談会in本町キャンパス」を開催

し、医学部の女性研究者9名が参加しました。

第4回(12月10日開催)は、弘前大学「LGBTQ+サークルぶらうど」と共催で「LGBTQ+について今学生が伝えたいこと」をテーマに開催。前半はサークル員からLGBTQ+の基本的な知識についての講話、後半は参加者を4、5人の班に分けて学生・教職員の垣根を越え交流が行われました。

第5回(1月29日開催)は、「部下は、あなた(上司)の態度を見てる!!」をテーマに、地域創生本部の館栄先生からご講話いただき、働きやすい環境づくりや良い組織づくりについて参加者と話し合いました。

第6回(2月27日開催)は、若手研究者と学長・担当理事・男女共同参画推進室長との懇談会を行いました。



第3回・第4回の様子

**参加者の声** ●女性研究者の先輩のお話を聞けてモチベーションアップになった ●学長と直接話すことでモヤモヤしていたことが解消できてよかった ●LGBTQ+についてわかりやすく説明してくれてとてもよかった

## 学外連携による活動

### ①北東北コミッティ 研究交流フェア

北東北女性研究者研究・交流フェア2025 「産学官トップでいま改めて考える 女性リーダー増加の加速～岩手大学・女性リーダー育成補助事業中間年を経て～」

- 日 時：令和7(2025)年9月26日(金)
- 会 場：岩手大学復興記念銀河記念ホール 他

男女共同参画推進室の支援を受けた女性研究者2名が参加し、女性研究者、女性大学院生によるポスターセッション(研究発表)に3名がポスター参加しました。

### ②北東北国立3大学 男女共同参画シンポジウム

「地方大学における女性リーダー育成環境の課題」

[講演]大学経営にダイバーシティ推進をどう活かすか

[報告]岩手大学女性リーダー育成環境整備にかかる教職員アンケートの報告・提言

- 日 時：令和7(2025)年10月17日(金) 14:00～15:30
- 会 場：岩手大学第一会議室、Zoom

本学・秋田大学・岩手大学の北東北国立3大学は、平成22(2010)年度から連携して男女共同参画シンポジウムを持ち回り開催しています。今年度は岩手大学が主催校となり、地方大学における女性リーダー育成環境の課題をテーマに、地方大学に共通する女性リーダー育成環境における課題や、地域をリードする大学がさらに魅力のある選ばれる大学になるための「経営戦略」としてのダイバーシティ推進について考え、解決策を共に考える機会となりました

## 女性研究者ポスター展示を行いました

本学的女性研究者による研究や室の取組について地域の方々に対して情報発信を行いました。男女共同参画推進のための意識啓発を図る目的も含め、本学女性研究者の協力を得て作成した研究ポスターを、青森県男女共同参画センター(アピオあおもり)秋まつり、弘前大学総合文化祭において展示しました。多くの来場者に見てもらえることができ、本学的女性研究者の研究のPRに繋がりました。

- 弘前大学 大学会館1階エントランス 令和7年10月17日(金)13時～19日(日)17時
- 青森県男女共同参画センター(アピオあおもり)秋まつり 令和7年11月23日(日)9:30～15:30



## 第3回アドバイザーボード審査会議が行われました

令和4年度に採択された文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)(実施期間:令和4～9年度)のアドバイザーボード審査会議が令和8(2026)年2月に行われ、補助金支給期間が終了した後も各事業が順調に推進できていると、A評価(所期の計画と同等の取組が行われている)を受けました。今後事業最終年度の令和9(2027)年度に向け、現在実施している各種取組を着実に継続すると同時に、令和7(2025)年度も目標未達成となっている大学全体の女性研究者比率が23%を上回るよう努めてまいります。

弘前大学男女共同参画推進室

〒036-8560 青森県弘前市文京町1  
Email equality@hirosaki-u.ac.jp 電話 0172-39-3888 FAX 0172-39-3889

ホームページ



www.equ.hirosaki-u.ac.jp

公式X



@GEquality\_HU